

農学部 生物環境システム学科

教職コースの受講許可を受けた学生は『教職課程受講ガイド』も参照してください。

1 カリキュラムの特徴

1 生物環境システム学科科目には、必修科目、選択科目があります。

必修科目 (講義・実験・実習・演習)	生物環境システム学科の学生が学ぶうえで最も基本となる科目。必ずすべて修得すること
選択科目	各自の必要に応じて履修する科目 (生物資源学科科目・生命化学科科目・教職関連科目・ユニバーシティ・スタンダード科目・他学部開講科目を修得した場合は、選択科目として卒業要件に含まれる)

2 学外プログラム

●生物環境システム学科では、2年次に全員が海外プログラム（カナダまたはオーストラリアのどちらかを選択）および国内プログラム（北海道または鹿児島島のどちらかを選択）に参加しなければなりません。

- ① **海外プログラム**：カナダプログラムの授業は主にバンクーバーアイランド大学で行われ、一部玉川大学ナナイモキャンパスを利用します。第3セメスター（3月下旬～7月）または第4セメスター（9月～12月）のどちらかに派遣されます。オーストラリアプログラムの授業はクイーンズランド大学で行われ、第4セメスター（9月～12月）に派遣されます。

※派遣期間は、日本および各国の暦や諸事情から、年によって若干変更されることがあります。

- ② **国内プログラム（「生物環境実習Ⅲ」）**：北海道プログラム、および鹿児島プログラムは第3セメスター終了後の夏休みに実施される予定です（履修登録および認定は第5セメスター）。

■派遣先と派遣時期の決定方法

●第2セメスターに希望調査を行い、必要に応じて人数調整のうえ、案が決定されます（10月～11月を予定）。希望に偏りがある場合は、学科が調整を行う場合があります。結果は文書にて、学生本人と保証人にお知らせする予定です。

3 領域配属（教職コースを除く）

●生物環境システム学科には、「生態系科学領域」「生物生産環境学領域」「環境社会科学領域」の3領域があります。第5セメスターから領域に配属されます（配属後に領域を変更することはできません）。

- ① 領域配属は定員制です。これは学生が特定の領域に偏ることを避け、教育の質を維持するためです。具体的な人数はあらかじめ連絡します。
- ② 「担任指導」などの時間を利用して、領域に関する情報提供をするほか、第3セメスター終了時に領域紹介ガイダンスを行う予定です。詳細はあらかじめ連絡します。
- ③ 第4セメスターに領域配属の希望調査を行い、必要に応じて人数調整の後、配属案が決定されます。

2 卒業要件

卒業要件を充足した場合は、学位として学士（農学）が与えられます。

- (1) 修業年限を満たすこと
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
- (3) 累積GPAが2.00以上であること
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、玉川教育・FYE科目群から必修科目をすべて含み7単位以上を修得していること
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、人文科学科目群・社会科学科目群・自然科学科目群から各4単位以上、学際科目群から2単位以上、言語表現科目群から「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」を含むELF科目を8単位以上を含み、合計22単位以上（必修科目を含む）を修得していること
- (6) 生物環境システム学科科目の必修講義科目23単位を修得していること
- (7) 生物環境システム学科科目の必修科目の実験・実習・演習科目（「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」を除く）20単位を修得していること
- (8) 「卒業研究Ⅰ」4単位、「卒業研究Ⅱ」6単位を修得していること

※教職課程（教職コース）に関する卒業要件は、p.92を参照。

3 卒業までの単位配分

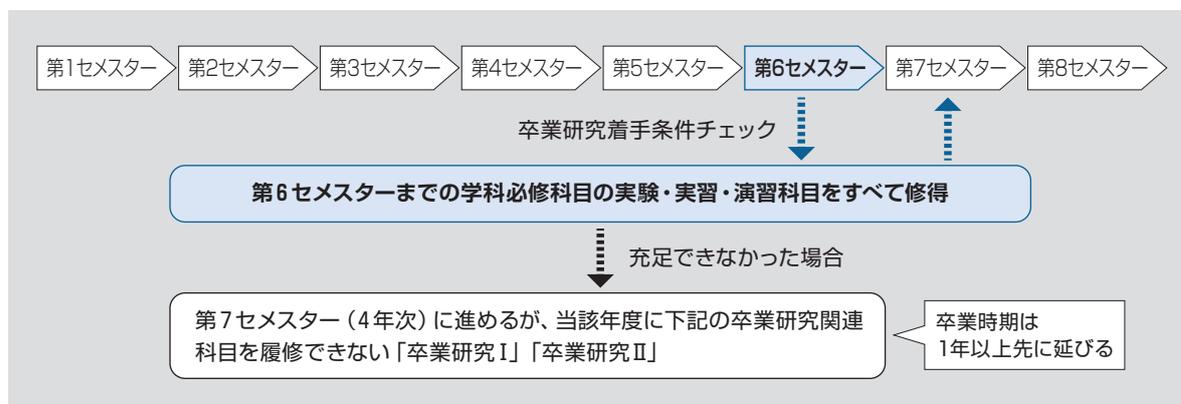
- 卒業に必要な最少単位数は、第1 Semesterから第8 Semesterまで、合計124単位で、生物環境システム学科の場合その内訳は次のとおりです。

科目群	科目分類	卒業に必要な単位数
ユニバーシティ・スタンダード科目	玉川教育・FYE科目群	7単位
	人文科学科目群	4単位以上
	社会科学科目群	4単位以上
	自然科学科目群	4単位以上
	学際科目群	2単位以上
	言語表現科目群	8単位以上
		合計22単位以上 「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」を含むELF科目8単位以上
生物環境システム学科必修科目	必修講義科目	23単位
	必修実験・実習・演習科目	30単位（「卒業研究Ⅰ」、「卒業研究Ⅱ」を含む）
選択科目	生物環境システム学科選択科目	
	他学部・他学科開講科目	
	ユニバーシティ・スタンダード科目	
	他大学との単位互換科目	
累積修得単位		124単位以上

4 履修条件

- 第6 セメスター終了時に単位修得状況の確認が行われ、履修条件を満たさない場合は、卒業研究に着手できません。

■ 第6 セメスター（3年次）終了時における卒業研究着手条件チェック



5 履修上の留意事項

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目のうち、生物環境システム学科生が履修できない科目は「生物学入門」「化学入門」の2科目です。
- ② 「比較文化論」は海外プログラム参加時に履修するようにしてください。
- ③ C・F評価科目の再履修制度のうち、C評価を受けた科目の再履修についてはp.47を参照し、履修登録前に必ず所属学科教務担当の指導を受けたいうで、適切に手続きを行ってください。
海外プログラムにおける科目は、再履修制度の対象に含みません（「比較文化論」を除く）。
- ④ 時間割（時間帯・教室など）については変更等をお知らせする場合がありますので、UNITAMAおよび大学7号館の掲示を十分確認してください。
- ⑤ 「インターンシップⅠ」、「インターンシップⅡ」は夏期休暇等を利用して実施されます。これらの科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。「インターンシップⅠ」は希望者が多数の場合、ガイダンス出席者に対し抽選または審査を行う場合があります。「インターンシップⅡ」はECO-TOPプログラムの受講許可を受けた学生のみが履修できます。
- ⑥ 「自然環境総合演習」はECO-TOPプログラムの受講許可を受けた学生のみが履修できます。
- ⑦ 教職関連科目群の科目は、教職課程の受講許可を受けた学生だけが履修することができます。
- ⑧ 「生物環境実習Ⅲ」は2年次の夏期休暇等を利用して実施されます。この科目の履修希望者は事前ガイダンスに必ず出席してください。履修登録・単位認定は第5セメスターに行います。

▶農学部教職コース履修案内
参照『教職課程受講ガイド』p.42